

指定管理者に関するモニタリングシート

黄色のセルを施設担当課が記入

1 施設の概要

(モニタリング実施年度: 令和 3 年度)

施設の名称	東大阪市立産業技術支援センター	指定期間	2 年度～ 6 年度
施設所管課	都市魅力産業スポーツ部 モノづくり支援室	指定の方法	単体施設を指定管理
連絡先	06-4309-3177		
設置目的	中小製造業等に対する技術支援などにより、産業の育成及び振興を図ることを目的とする。		
施設内容・業務内容等	市域の産業の振興のため、製造業等が抱える様々な技術課題について相談に応じるとともに、センターに設置している測定機器等を低廉な価格で利用に供するなどにより、市内製造業等の製品の付加価値化、技術の高度化への支援を行う。		
指定管理者	公益財団法人 東大阪市産業創造勤労者支援機構	連絡先	06-6785-3325
人員体制	正規職員 人	パート・アルバイト 人	その他 9 人

2 管理運営状況等

年度		実績						今年度(予算)			次年度(見込)		
		平成 30 年度	令和 1 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度		
管理形態		指定管理		指定管理		指定管理		指定管理		指定管理			
供用(開館)日数		269		263		261		243		243			
指定管理委託料(千円)		53,027		53,365		53,691		54,593		54,593			
利用状況	1 相談件数(件)	1,469		1,843		1,785		補足説明	緊急事態宣言期間中は来所での相談受付は中止し、メール・電話での対応をおこなった。				
	2 機器貸出件数(件)	1,973		2,673		2,739		補足説明	緊急事態宣言期間中は原則新規予約の受付を停止した。				
	3 ものづくり大学校受講者数(人)	92		71		0		補足説明	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からものづくり大学校の開催を断念した。				

3 モニタリングの総括

「個別評価」(自動表示): S=チェック項目が全て○、A=×がなく「得点」が中間点以上、

B=×がなく中間点未満あるいは×が1個で「得点」が中間点以上、C=×が2個以上。

「最終評価」(任意決定): 個別の評価結果を踏まえて、評価者の裁量で決定する。

モニタリングの観点		施設担当課のモニタリング	
		個別評価 S A B C	評価できる点や要改善事項
A 行政視点	施設の設置目的が達成でき、事業の継続性が期待されるとともに、市民の安全の確保が図られているか？	A	・月1回防災ミーティングや防災点検ツアー(館内を巡回し防災設備の場所の確認や不具合がないか確認を行うもの)を開催する等、職員間で防災知識の共有を図っている点は評価できる。
B 管理・運営能力	人員・予算等の資源を管理し、快適に施設や設備等を利用できる環境を整備しているか？	A	・市職員とセンター職員で全館を回り備品台帳と現物の照合をおこなった上、備品シールが貼れていなかった備品にシールを貼る作業をおこなった。
C サービス	平等な利用の確保及びサービス向上が図られているか？	S	・週1回の会議や研修を通じて相談員のスキルアップを図っており、利用者に対し課題解決に向けた適切な対応ができるよう努めている点は評価できる。 ・1階の案内板に英語を併記しており、外国人市民向けに可能な限り配慮がなされている。
D 市民視点	市民の声が反映される管理・運営が行われているか？	S	・アンケートの結果を分析し、次回セミナーの企画に活用するなど効果的な取り組みを行っている。
E 効果・効率性	施設の効果を最大限発揮しようとするとともに、管理経費の縮減が図られているか？	A	・料金プランを見直し、光熱水費の削減に努めている。 ・令和2年度は新型コロナウイルスの影響で自主事業(ものづくり大学校)が開催できなかった。今後は情勢や利用者のニーズを考慮しながら自主事業のあり方を検討する必要がある。
F 法令等遵守	法令や各種規則等を理解し、遵守することで、社会的責任を果たしているか？	A	・個人情報の取り扱いや情報セキュリティについて、職員への周知徹底を求めている。
課題への対応 今後の取組		最終評価 (任意設定) A	監査の指摘等を踏まえ、適切な施設運営に向け市と指定管理者間で協議を進めていく。